

# 津久戸小のあゆみ

## ● 津久戸小のあゆみ ●

明治37年 4月 京都市津久戸尋常小学校開校式  
 9月 校歌、校章決まる  
 大正 2年 4月 開校10周年記念式典を挙げる  
 7年 3月 児童 1,289名  
 昭和 8年10月 鉄筋校舎落成式（東京のモデル校）  
 普通教室24 特別教室5 プール15×7m  
 16年 4月 東京府京都市津久戸国民学校と改称  
 太平洋戦争が始まる  
 23年 4月 東京都新宿区立津久戸小学校と改称  
 26年 5月 天皇・皇后両陛下、赤十字少年団活動  
 ご視察のため行幸啓 開校記念日となる  
 29年 5月 開校50周年記念式典を挙げる  
 36年 4月 津久戸幼稚園併設  
 47年 4月 箱根岡田高原学園併設  
 神楽坂阿波踊りが始まる  
 54年11月 開校75周年記念式典を挙げる  
 「つくど歴史館」を設置  
 59年11月 開校80周年記念式典を挙げる  
 平成元年 6月 開校85周年記念式典を挙げる  
 6年 2月 外装工事完了

7年 3月 校舎内装工事完了  
 5月 開校90周年記念式典を挙げる  
 10年 3月 講堂内装、校庭・プール改修  
 工事完了  
 11年 5月 開校95周年記念式典を挙げる  
 13年 3月 箱根岡田高原学園閉園  
 16年 3月 屋上フェンス改修工事完了  
 16年10月 開校100周年記念式典を挙げる  
 17年 3月 屋上防水工事完了  
 17年 3月 ランチルームサッシ取替工事完了  
 17年 4月 普通教室・冷暖房設備設置工事完了  
 18年 3月 耐震工事着工 19年10月完了  
 20年 1月 平成18・19年度新宿区教育委員会  
 研究発表会  
 20年 4月 読書活動実践で、文部科学大臣表彰  
 を受ける  
 20年11月 地域安全マップコンクール・都で  
 最優秀賞受賞  
 21年11月 開校105周年記念式典を挙げる  
 23年 2月 第56回青少年読書感想文全国コン  
 クール学校賞受賞



明治37年の木造校舎



昭和8年完成の現校舎

## ● 歴代校長 ●

代	氏名	在任期間	代	氏名	在任期間
初	光野 豊吉	明治37年～大正12年	10	霜村 叶	昭和53年～昭和56年
2	小倉 育之助	大正12年～昭和2年	11	国吉 一司	昭和56年～昭和59年
3	中村 静三郎	昭和2年～昭和16年	12	秋月 重美	昭和59年～昭和62年
4	伊藤 藤薫	昭和16年～昭和27年	13	西村 孔希	昭和62年～平成3年
5	内堀 政次	昭和27年～昭和30年	14	緒方 良子	平成3年～平成5年
6	古川 正義	昭和30年～昭和34年	15	小笠原 功	平成5年～平成10年
7	神能 貞嘉	昭和34年～昭和42年	16	荒木 喜久子	平成10年～平成16年
8	朝倉 秀雄	昭和42年～昭和48年	17	小滝 岩夫	平成16年～平成20年
9	藤高 河澄	昭和48年～昭和53年	18	堀竹 充	平成20年～

## ● 最近の研究のあゆみ ●

年 度	内 容
平成元年度	「意欲的に学習に取り組む児童の育成」（国語科） （区研究発表校 平成元. 11. 30発表）
平成2～3年度	「意欲的に学習に取り組む児童の育成」（社会科・生活科）
平成3年度	「一人一人の児童を生かす指導法」（道徳・特別活動） （全国道徳特別活動研究会全国大会 平成3. 12. 7発表）
平成4年度	「意欲的に学習に取り組む児童の育成」（社会科・生活科）
平成5・6年度	「意欲的に取り組む子供の育成」（特別活動）
平成7年度	「意欲的に取り組む子供の育成」（算数科）
平成8・9年度	「進んで考え、表現する子供の育成」 ～算数科における表現力の育成をめざして～ 平成9. 11. 18発表
平成10・11年度	「豊かな人間関係をつくる子どもの育成」 ～聞く・話す活動を通して～
平成12年度	「豊かな人間関係をつくる子どもの育成」 ～国語の授業の充実をめざして～
平成13年度	「豊かな人間関係をつくる子どもの育成」 ～国語科における「読むこと」を中心として～ 平成13. 10. 26発表
平成14・15・16年度	「豊かな人間関係をつくる子どもの育成」（総合的な学習の時間） ～とび出そう・かかわろう・見つけよう～
平成17・18・19年度	「自ら学び、よりよく問題解決をしようとする児童の育成」 ～学校図書館の活用を通して～ 平成20. 1. 24発表
平成20年度	「自ら学び、よりよく問題解決をしようとする児童の育成」 ～読む・調べる学習を通して～
平成21年度	「自ら学び、よりよく問題解決をしようとする児童の育成」 ～社会科・生活科に伝え合い、深め合う活動を取り入れて～
平成22年度	「自ら学び、よりよく問題解決をしようとする児童の育成」 ～伝え合う活動を中心に～
平成23年度	「児童一人一人の思考力・判断力・表現力をはぐくむ指導」 ～かいて、伝えて、学びあう生活科・理科の研究～